



▲ 2015年（できたばかり）

50年後 ↓

▼ 2055年（住み慣れた頃）

風化されゆく家

年月が経つほどに、温もりを増すガラス塊

敷地はデンマークのスケーエン。毎日突風が吹きすさぶ海岸地帯である。ここに箱型のガラスの家を置く。新築当初、この家は透明でシャープだが年月を重ねるうちに、砂に削られ丸みを帯びてくる。また、始めは透明だった面も次第にすりガラス状になっていく。30年後50年後100年後、時間がデザインしていく家を提案する。

